

# 札幌市の交通に関する取組の紹介（平成26年度） ～「暮らし」・「活力」・「環境」に寄与する交通を目指して～

## ●札幌市の将来交通に対する基本的な考え方（平成24年1月）

札幌市では、少子高齢化の急速な進展などの社会情勢の変化や低炭素社会の実現といった課題などを踏まえ、市民の日常生活や経済活動を交通面から支えるために『「暮らし」「活力」「環境」を重視する公共交通を軸とした交通体系の実現』に向けて、交通に関する様々な取組を行っております。詳細は札幌市総合交通計画をご覧ください。

☞ 詳細は「札幌市総合交通計画」のページへ

URL : <http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/shisaku/sogokotsukeikaku/index.html>

## ●平成26年度に行った主な取組の紹介

### ◇【自転車】自転車利用のルール・マナーの効果的な周知・啓発

[拠点まちづくり支援・都心まちづくり支援パッケージ]

#### ルール・マナーの周知・啓発の取組

- ①事故を再現する方式の自転車教室の実施  
(札幌あすかぜ高校・札幌丘珠高校)
- ②駅前通における自転車押し歩きキャンペーンの実施
- ③さっぽろバーチャル自転車教室の運用 など



実際の自転車事故を再現！  
《自転車教室（丘珠高校）》

☞ 詳細は「自転車のルール・マナー」のページへ

URL : <http://www.city.sapporo.jp/kotsuanzen/cycle/cycle.html>

### ◇【バス】地下鉄東豊線栄町駅交通広場の整備

[拠点まちづくり支援・環境負荷低減促進パッケージ]

★平成26年12月1日に、バス乗降場・待合所と駐輪場からなる栄町駅交通広場がオープン



#### 栄町駅交通広場のポイント

- ①バス乗降場・待合所の整備による公共交通の利便性向上
- ②駐輪場の整備による周辺道路の歩行環境改善  
(駐輪台数：460台)



## ◇【徒歩】北3条広場の整備

[都心まちづくり支援・観光促進パッケージ]

★平成26年7月19日に、北海道庁赤れんが庁舎前から札幌駅前通までの北3条通の一部が「北3条広場」（愛称：アカプラ）となって新たにオープン



### 北3条広場のポイント

札幌の歴史や自然を感じる憩いの空間

：空間活用の3つのコンセプトを定め、居心地の良い落ち着いた憩いの空間の提供を図っています。

#### [空間活用のコンセプト]

- ①大人の文化を享受できる空間
- ②札幌の美しさを感じられる空間
- ③四季を通じて憩い楽しめる空間

広場下には、1924（大正13）年に市内初の舗装道路としてこの場所に整備された「木塊舗装」が保全されており、1925（大正14）年に植樹されたイチョウ並木とともに、土木学会選奨土木遺産に認定



札幌市北3条広場 [アカプラ]

☞ 詳細は「札幌市北3条広場（愛称：アカプラ）」のページへ

URL : <http://www.city.sapporo.jp/kikaku/downtown/project/kita3jouhiroba.html>

## ◇【徒歩】大通交流拠点地下広場の整備（都心の骨格構造の強化・検討）

[都心まちづくり支援・観光促進パッケージ]

★平成26年12月から、地下鉄南北線大通駅のコンコースに「大通交流拠点地下広場」が順次オープン

### 地下広場の整備方針

- ①歩行者通行量の増加や、歩行者動線と施設利用者の待ち行列の交錯による混雑を解消し、円滑な人の流れと見通しを確保
- ②滞留機能・利便機能を備え、人々が豊かな時間を過ごすことができる広場を形成
- ③都心の中心にふさわしい質の高い空間を形成



☞ 詳細は「大通交流拠点のまちづくり」のページへ

URL : <http://www.city.sapporo.jp/kikaku/downtown/project/odorikouryu.html>